

2020 コンテスト総括

「とにかく2位」の日々に思うこと

JM1LZT 富山俊一

コロナに開け暮れた2020年は、正直趣味の無線どころの状況ではありませんでした。とは言え、好きなものは好き、限られた状況の中(だからこそ?)去年もいろいろ悪あがきをしてしまった顛末です。

最初の緊急事態宣言の下行われた ALL JA と東京コンテストは、さすがに移動運用するわけにいかず、ALL JA はにわか作りの DP で 7MHzCW、東京コンテストはこれまた急造の3エレデルタループで 50MHzCW に自宅からエントリー。いずれもフルタイムでやりましたが、結果はそれぞれ 33 位、13 位と低調。手にした環境でどれだけやるか(やれるか)を競うアマチュア同士の戦いですから、文句は言いません。ただ、分かってはいたことですが、やはり自宅のロケーションは、無線をやるには最悪であることだけは、しっかり確認できてしまいました…
嗚呼

7月。何とか緊急事態宣言も一度は解かれ、急遽移動運用可となった 6m and down コンテスト。本来なら前年 5 位の雪辱を果たすべく個人参加で 50MHzCW といきたかったわけですが、過去に報告させていただいたような経緯で、マルチオペで日光から参戦。結果は 2 位。優勝こそ出来ませんでした。マルチオペのオールバンド、オールモード＝「全部入り」で、全国 2 位は、素直に嬉しい結果でした。

コロナ情勢に若干の緩みが見え隠れしていた(?)9月。果たして移動運用は可能なのか不透明感満載な中、千葉県は鴨川市にコンテストのためにロケハンを敢行しました。「1エリア縛り」を勝手に自らに課し、北関東の山奥を彷徨っていた私でしたが、地図やカシミール(地図ソフト)との睨めっこの日々から辿りついたのが房総半島。北関東ではどうしても厳しい西日本との交信を増やすには、海上伝搬を使ったらどうだろうという発想の転換でした。Eスポについても、北関東より期待出来そうです。全市全郡コンテストでのエントリーを前提に、XPOコンテストの日に候補地の調査に行ってみました。あくまで「調査捕鯨」なので、コンテストの成績は度外視でしたが、明るい時間帯だけひたすら西にビームを向け(もちろん北方向も調べはしましたが)50MHzのCWでログを出しておいたところ、またもや2位。順位はともかく、北関東では案外難しい三重のJA2IGYが安定的に入感していることが確認出来たのが最大の成果だったと思います。

そして10月。もちろん鴨川から全市全郡に出る気マンマンだったわけですが…お約束の台風が来ちゃいました^^; 毎日天気予報と睨めっこを繰り返し、一喜一憂した挙句、鴨川への移動は断念。自宅から30分ぐらいの小高い場所を移動地と定めたのはコンテストのある週の木曜日でした。ご記憶の方もあるかと思いますが、結局台風の進路は多摩地区は外れてくれ、コンテスト当日は小雨から晴れへと。全力で24時間戦い(実は2時間ぐらい寝ましたが)、つい先日発表された結果はまたまた関東2位(全国3位、関東Mクラス1位)JARLのメジャーコンテストの50MHzCW部門で「1エリアの2位を全力で獲りにいく」を掲げていたので、一応目標達成とはなりました。

「全力で2位狙い」というのは、この10年以上、50MHzのCWでは「絶対王者」と呼べる方が君臨されており、とりあえず勝ち目はない身としては、2位でよしとするということです。もちろん「いつかは」絶対王者の方に勝ちたいと思っていますが、どうやったら勝てるのか、残念ながら今のところ全く目処が立ってませんσ^_^;

全市全郡の2週間後、240の記念運用を挟み東京CWコンテストに全市全郡と同じ場所からエントリーしました。6時間のスプリントコンテストです。もちろん50MHzのCWでフルタイム参加し…またまた2位f^_^;

11月。昨年何とか優勝出来た多摩川コンテスト。傲慢にも二連覇を狙っての超本気参戦です。場所はお馴染みの浅間尾根駐車場。ゲートオープンのはるか前(朝ではなく夜中)からゲート前に並び、何とか場所は確保出来ました。朝8時過ぎ、ゲートオープンに備えクルマの周りでウダウダしていると「LZTさんですか？」との声。誰かと思ったら横浜の某有名コンテタスターの方でした。お会いするのは初めてでしたが、コールサインは一方向的によお〜く存じ上げていて、50MHzで「いつかは倒したい相手」の一人でした。聞くと「前年の優勝者を倒しに来た」とのこと。どうやらTWO-FORTYに私が書いた記事を読まれ、横浜から遥々奥多摩までいらっしゃったようです(池さん、TWO-FORTY読まれてますよ♪)

友好的に様々な情報交換をし、エールの交換が出来たのは、実に嬉しい出会いでした。

私は予定通り浅間尾根駐車場に、「ライバル」はもう少し奥の月夜見方面へ。セットアップも順調に終わり、13時、戦闘開始です。多摩川コンテストのお約束で先ずはCWでCQ連発。とにかく2時間しかないスプリントコンテストなので、CWとSSBの時間配分が勝負を大きく左右します(CW3点、PHONE2点で先にやったQSOをカウントするというルール)

明らかに昨年より多くの方がエントリーしているようで、コールが途切れることはほとんどありませんでしたが、CWで80QSOほどやったところでマルチ稼ぎのためにSSBへ。その時点で残り時間は40分ぐらいでした。年に1度だけのPHONE運用(去年は6Dでもやりましたが)に興奮している自分がありました(根はPHONE屋なんだろうと思っています)何とか全マルチを獲得し、160QSOぐらいやったところでタイム

アップ。手応えはありました。しかし、相手あつてのコンテスト。結果発表を見るまでは何とも言えません。

「お片付け」をしていると周遊道路の「上流」から次々に同業者の方が戻って来ました。お互いの戦果報告をしながら分かったことが「今日は周遊道路のあらゆる駐車スペースにアンテナが上がってた」ということ^^; 私の影響だとは思いませんが、多くの方が多摩川コンテストのために来てみたいと思います。やはり、TWO-FORTY、結構読まれてるかもです^^

件の「ライバル」の方の数字はびみょ〜に私を上回ってたのですが、流域内でエントリーされたようで(私は流域外)冷や汗をかいたのは言うまでもありません f_^^;

JARL と違い、結果発表が早いのもこのコンテストの魅力です。1月の初めに結果が出ました。う〜ん、2位☆あと2QSO 足りませんでした。ちなみに、「ライバル」の方は流域内で当然のように優勝。おめでとうございます。

こうして私の 2020 年のコンテストライフは終わりました。

6D、XPO、全市全郡、東京 CW、多摩川と見事に 5 戦連続 2 位。もちろん嬉しくないわけありません。賞状が来たら額に入れて飾っちゃおうと思います。ただ、「あと一步」の不足要素、「勝ちきれない」部分が何なのかを真摯に反省、分析し、今年のコンテストに活かしていきたいと猛省している春の初めです。